

暑熱環境において生じる身体の適応障害を熱中症（暑熱障害）とといいます。その発生の増加が社会的注目を集めています。足柄消防組合管内においても昨年より倍以上の件数で救急出場しております。最近の統計によると労働災害としての熱中症、あるいは高齢者での熱中症発生が多いことが認識されています。重症型熱中症は30%以上の死亡率です。

熱中症においては早期診断・早期治療が最も重要なのです。熱中症予防に努めましょう。

熱中症予防参考ホームページ

消防庁 http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

<http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2306/pdf/230614-1.pdf>